

今日、会いに行こう

—今、知る、出会う、共に生きる—

2017年8月18日(金)～19日(土)

<オプション>フィールドワーク 8月17日(木)

会場：共愛学園（群馬県前橋市）

こども園・学童クラブ・小学校・
中学・高等学校・前橋国際大学



主催

第28回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
(メールアドレス zenkiri28@c.kyoai.ac.jp)

全国キリスト教学校人権教育研究協議会
(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

【開催の目的】

- ①キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ②人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ③キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを作る。

第28回 全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

今日、会いに行こう 一今、知る、出会う、共に生きる一

「自国優先、自分たちさえよければ」という思いが、今、世界を大きく巻き込もうとしているように思えます。自分たちを守るという主張の下、民族間、国家間の対立が煽られ、猜疑心や敵対心が世界のあちらこちらで暴力的に噴出しています。日本では、数や力にものを言わせる論理がまかり通り、民族的少数者はもちろん、様々な意味での少数者が苦しい思いを強いられています。このような状況にあって、私たちは「他者と共に生きる道」を求めることが緊急課題であることを再確認する必要があるのではないのでしょうか。

平和教育・人権教育はまさに、他者と共に生きる姿勢を次世代の心に培っていくために必要不可欠な教育であり、それぞれのキリスト教学校の建学の精神と深く結びついています。キリスト教学校教育のさらなる充実のために、私たちは今、何を大切にすべきか、なぜ、そうなのか、このセミナーでキリスト教教育の根源的意義を共有すると共に、それぞれの取り組みや課題を分かち合い、互いに学び合ひましょう。それが現場で働き続ける力となることを願っています。

同じ思いを持った仲間との出会いは、新しい発想、新しい勇気、新しいビジョンを生み出すための大きな出来事となることを信じて、是非、今年のセミナーに、皆さん、こぞってお集まりください。心よりお待ちしております。

●日程 2017年8月18日(金)～19日(土)

*8月17日(木)にオプションのフィールドワークがあります。

●会場 共愛学園(群馬県前橋市小屋原 ⇒8ページを参照してください。)

●参加費 出張15,000円 / 自費12,000円 / 学生8,000円

事前振り込みをお願いします。フィールドワーク希望者は7ページに記載したフィールドワーク参加費をプラスしてご送金ください。参加費にはセミナー諸費用、昼食代、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます。

●申込み 7月14日(金)までに、下記申込み専用サイトよりお申し込みください。

●申込み専用サイト <https://goo.gl/forms/7A73MkUQPNe1YgfD2>

・全国キリスト教学校人権教育研究協議会ホームページ (<http://zenkiri.junyx.net>)からもアクセスできます。また、右のQRコードを読み取ってアクセスできます。

・パソコンを使用しない方は、問い合わせ電話に申込用紙をご請求ください。

申込用紙をお送りいたします。協議会のホームページからダウンロードもできます。

●参加費振込先 郵便振替口座 番号00260-2-104217

加入者名 第28回人権教育セミナー

※7月21日(金)までにご送金ください。

●宿泊 各自でご予約ください。(JR前橋駅近辺が便利です。)

●問合せ先 メール zenkiri28@c.kyoai.ac.jp

電話 027-266-7575 (大学代表電話、担当：徳光・都丸)



※参加を申し込まれた方には、7月下旬に「受付確認書」をお送りします。
申込書には夏休み中でも郵便物を受け取れる住所をご記入ください。

2017年／第 28 回全国キリスト教学校人権教育セミナー 日程

(オプション) 8月17日(木) 事前申込と参加費送金が必要です	
8:00～18:00 草津で学ぶ 「ハンセン病と人権」	フィールドワーク Aコース *JR高崎駅 東口ターミナル8:00 集合、共愛学園バスで草津へ。帰着は前橋駅 18時予定。先着 20人、参加費 4000円 (昼食含む)
13:00～17:00 高崎市の被差別部落	フィールドワーク Bコース *たかさき人権プラザに集合。映画「タケヤネの里」視聴とお話等。先着 20人。参加費 2000円。分科会①参加者はぜひどうぞ。
11:30～18:00 群馬の多文化共生に学ぶ	フィールドワーク Cコース *JR熊谷駅改札に 11:30 集合。共愛学園バスで大泉町と太田市へ。帰着は前橋駅 18時予定。先着 20人、参加費 4000円 (昼食含む)
一日目 8月18日(金) [会場] 午前：共愛学園中学校・高等学校、午後：共愛学園前橋国際大学	
08:30	受付
09:00～09:45	開会礼拝：本田栄一さん (全国キリスト教学校人権教育研究協議会)
09:45～10:15	基調報告：荒谷 出さん (共愛学園中学高校、セミナー実行委員会)
10:25～11:50	主題講演：群馬で考えるキリスト教学校の教育的使命 講師 山口陽一さん (東京基督教大学)
12:00～13:15	昼食 (中学高校の食堂)・大学へ移動
13:15～14:00	全体会 リレートーク
14:15～17:15	分科会①部落差別とどう取り組むか ②学校とセクシュアル・マイノリティー生徒の性が多様なら、先生の性も多様かも ③在日外国人の人権ー実践から学ぶ外国にルーツをもつ子どもたちへの教育支援 ④子どもの精神世界とどう向き合うかー子どもと共につくる人権劇の実践から ⑤発達障がい児者と共に切り拓く未来ーキャリア支援の実践から見えてくること
17:30～19:30	交流会
二日目 8月19日(土) [会場] 共愛学園前橋国際大学	
08:50～09:30	朝の祈り メッセージ 斎藤優さん (社会福祉法人フランスコの町 あかつきの村)
09:40～11:00	聖書研究：「教師と呼ばれたイエスーその生き方、語り方は？」 講師 山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター)
11:10～11:50	わかちあい
12:00～12:30	派遣礼拝：関田寛雄さん (全国キリスト教学校人権教育研究協議会会長)
12:40～13:10	昼食 (お弁当とお茶を用意します)
13:10～13:50	「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」総会
14:00	終了

- 主催 全国キリスト教学校人権教育研究協議会／第 28 回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会
- 後援 カトリック中央協議会学校教育委員会／キリスト教学校教育同盟／キリスト教保育連盟
全国在日外国人教育研究協議会／日本カトリック学校連合会／日本キリスト教協議会教育部
- 賛同 日本基督教団関東教区群馬地区／外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／日本カトリック部落差別人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓教会／日本キリスト教協議会
在日外国人の人権委員会／日本キリスト教協議会部落差別問題委員会／日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会／
日本キリスト教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会平和部門／日本聖公会人権問題担当者／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連帯会議／マイノリティ宣教センター ※後援・賛同は含予定 (2017年6月5日現在)

《プログラムの内容》

～ 8月18日（金）～

【開会礼拝】 本田栄一さん（全国キリスト教学校人権教育研究協議会）

【基調報告】 荒谷 出さん（共愛学園中学高校、セミナー実行委員会）

【主題講演】「群馬で考えるキリスト教学校の教育的使命」 講師 山口陽一さん（東京基督教大学）

群馬県出身で、牧師として群馬の教会と平和運動の問題、天皇制と教会のかかわり等を長年研究されてきた山口さんに、今回の主題講演をお願いしました。そのような背景を踏まえて、キリスト教学校の今日的使命について発題いただき、このセミナーをスタートできることを願っています。

【全体会】 分科会発題者の皆さんによるリレートークを予定しています。それぞれの立場から、主題を視野に入れつつ、学校関係者に望むことを一言ずつ率直に語っていただきます。

【分科会】

① 部落差別とどう取り組むか

発題者：安田耕一さん（日本基督教団太田八幡教会）、水野松男さん（NCC 部落差別問題委員会）

コーディネーター：川上盾さん（日本基督教団前橋教会）、荒谷出さん（共愛学園中学高校）

群馬県での被差別部落の実態と部落差別をなくす部落解放運動を安田耕一さんのスライドによる説明と、子を持つ親の立場から、教育現場の課題、感想等を発題していただきます。親の気持ちを聞き、学校で部落問題をどう取り上げるか、向き合うか、これからの新しい展望を安田さんの発題と水野さんの発題から共に考える時を持ちます。

部落差別解消推進法が2016年12月制定され、部落差別をなくすことが国や地方自治体の義務となり、調査、相談、人権教育啓発の推進も具体的な課題として明記され、教育の役割は重要です。改めて部落差別をどうなくすか共に考えます。

② 学校とセクシュアル・マイノリティ ～生徒の性が多様なら、先生の性も多様かも～

発題者：佐々木園さん（基督教独立学園高等学校）、藤坂嘉信さん（基督教独立学園高等学校）

コーディネーター：日川千恵さん（共愛学園中学高校）、関口敬人さん（共愛学園中学高校）

クラスに一人はいるともいわれるセクシュアル・マイノリティ。教職員や保護者の中でも同様でしょう。大人が自分のセクシュアリティを自由に表現できない学校で、生徒が自由になれるはずはありません。様々な壁にぶちあたる当事者生徒と共に生きるためには、教職員や保護者が性の多様性に関する知識を知ることと同時に、社会にある壁、学校にある壁、自分の中にある壁を見つめていく必要があるのではないのでしょうか。今年は、児童・生徒・学生と向き合う大人の側の性の多様性にも目を向けてみたいと思います。当事者と共に生きるには何が必要なのか、一緒に考えましょう。

③ 在日外国人の人権—実践から学ぶ外国にルーツをもつ子どもたちへの教育支援

発題者：本堂晴生さん（NPO 法人いせさき NPO 協議会 社会貢献ネット）、

若林スエリさん（小中学校の日本語教室指導助手）

このテーマに様々なかたちで関わる大学生たち

コーディネーター：西館崇さん（共愛学園前橋国際大学）、添田香織さん（共愛学園中学高校）

「みんないっしょ」「みんな同じがいい」という空気の中では、異なる文化の中で育った子どもたちは否定されがち。「違うこと、異なること」が評価され尊重される教室を創っていくために、教員をはじめ大人たちに何ができるのでしょうか。いろんな子がいて助け合える教室は、日本人の子どもを含めて国籍を問わず、どの子にとっても安心できる場になるはず。学校の外から、学校の中から、また当事者として、この課題に向き合ってきた発題者たちの声を聞きながら、一緒に考えましょう。

④子どもの精神世界とどう向き合うか—子どもと共につくる人権劇の実践から

発題者：人権劇の実践に取り組んでいる教員

コーディネーター：平岡さつきさん（共愛学園前橋国際大学）、赤嶺容子さん（運営委員）

日本の子どもたちの精神の荒廃を象徴する事件があとをたちません。文部科学省は、いじめ問題の深刻化をうけ異例の早さで道徳の教科化を推し進めつつあります。また学校教育課程上、道徳にかえることのできる宗教についても規制を強めてきていることを見逃すことはできません。

そのような中で、この分科会では、「徳目」を振りかざすのではなく、子どもたちの精神性に向き合い、その耕しを地道に進めている教員をゲストに招き、その実践に学び、語り合いたいと思います。子どもと共に創り上げた人権劇のDVD鑑賞も行ないます。

⑤発達障がい児者と共に切り拓く未来—キャリア支援の実践から見えてくること

発題者：石川京子さん（NPOリンケージ理事長・臨床心理士）

太田和雄さん（ぐんま若者ステーション前理事長）

コーディネーター：樺澤徹二さん（高崎経済大学・群馬県スクールカウンセラースーパーバイザー・臨床心理士）、齋藤眞理子さん（共愛学園小学校）、平田郁美さん（共愛学園前橋国際大学）

「発達障害の診断を受けた家族に伝える最も大切なことは？」という問いに、イギリス人臨床心理士は次のように答えました。「それは、おめでとうよ。この子は神さまから特別な個性を与えられた。今は隠れている個性を、一緒に探して育てていきましょう。場の空気を読み、周りに合わせて行動することが過度に期待される日本にあって、発達障害者児の才能は隠れたままになりがちです。子ども園から大学まで、それぞれの段階で、将来の自立に向けて、私たちはどのように支援していくのか。臨床心理士、若者の就労支援の現場の声を聞きながら、共に考えましょう。」

【交流会】 初めての方を歓迎します。食卓を囲んで全国の仲間と楽しく語り合い、情報を交換し合える有益な時間です。

2日目の朝の祈りのために、「社会福祉法人フランシスコの町 あかつきの村」の紹介もあります。

～ 8月19日（土）～

【朝の祈り】 齋藤優さん（社会福祉法人フランシスコの町 あかつきの村）

「愛するが故に、ひとりひとりを自由な人間として認め、更にもっと、助け合う喜びが発見できるような小さな村をこの地上につくろう」と、前橋市内の小高い丘を開墾してあかつきの村が始まりました。1978年のことです。その後インドシナ難民を受け入れ、その働きを終えた現在は難民をはじめ地域の障がい者と共に生きるさまざまな活動を展開しています。その現場から、齋藤助祭にメッセージを語っていただきます。

【聖書研究】 テーマ「教師と呼ばれたイエス—その生き方、語り方は？」

講師 山口里子さん（日本フェミニスト神学・宣教センター）

フェミニスト視点から聖書学者として果敢に研究に取り組んでおられる山口さんに、「教師イエス」をどう見るか、話してほしいとお願いしました。イエスは教育に携わる者にとってどのような存在なのでしょう。一緒に考えましょう。

主要著書『新しい聖書の学び』『マルタとマリア：イエスの世界の女性たち』『虹は私たちの間に：性と生の正義に向けて』『いのちの糧の分かち合い：いま、教会の原点から学ぶ』『イエスの譬え話1：ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る』『イエスの譬え話2：いのちをかけて語りかけたメッセージは？』（以上、新教出版社）

【わかちあい】 各分科会で提起された諸問題について共有し、教育課題をみんなで考えます。

【派遣礼拝】 関田寛雄さん（全国キリスト教学校人権教育研究協議会会長）

《フィールドワーク》

* 参加希望者は申し込みをした後、セミナー会費に参加費を加えて計算、送金してください。

* 集合場所の詳細は、7月下旬にお送りする「受付確認書」に記載しますので、必ず確認してください。

A コース 草津で学ぶ「ハンセン病と人権」 (先着 20 人、参加費 4000 円、昼食込)

☆集合 JR 高崎駅東口ターミナル 8:00

→共愛学園マイクロバスで草津へ移動 (前橋駅に 18:00 帰着予定)

ハンセン病患者の歴史と私たちの課題を、栗生楽泉園の語り部の方の講演と、重監房資料館見学を通して学びます。近代日本社会におけるハンセン病患者への偏見と差別の歴史の遺産を辿り、当時、そうした人々のために生涯をささげた、コンフォール・リー女史の資料館を訪問し、それらの学習を通して、人権の問題、現代社会の課題への理解を深めます。

内容 ①コンフォール・リー資料館見学

②栗生楽泉園見学と講演

③重監房資料館見学

B コース 高崎市の被差別部落

☆第 1 分科会の参加者はぜひどうぞ。

(先着 20 人、参加費 2000 円。昼食は含みません)

☆集合 たかさき人権プラザ (交通などは申し込み後、通知)

群馬の被差別部落の人々が支えて来られた伝統産業を紹介した「ヤケヤネの里」の上映に続き、地元の方の案内とお話で地区を歩きます。

地区の歴史、建物の説明、部落差別解消推進法の 2016 年 12 月成立後も変わりつつあるコミュニティの様子など、実際にそこで暮してこられた地元の方の説明と思いをうかがいます。

13-17 時の予定です。

C コース 群馬の多文化共生の取り組みに学ぶ (先着 20 人、参加費 4000 円、昼食込)

☆集合 JR 熊谷駅改札に 11:30

→共愛学園マイクロバスで移動、前橋駅に 18:00 帰着予定

住民の 10 人に 1.6 人が外国籍という群馬県大泉町と、大泉町に隣接する太田市。外国にルーツを持つ子どもたちは、言葉や文化の違いに戸惑いながら一生懸命生きています。そんな子どもたちや親たちと共に歩むためにいったい何ができるのか？

子どもたちを支援しているブラジル・レストランでパワフルなランチをいただき、人々をつなぐ役割を果たしている大泉町観光協会、1990 年代から子どもたちとその家庭を支援してきたブラジル学校・日伯学園、そして、昨年、日系ブラジル人たちが立ち上げた放課後の学習支援と子どもたちの居場所作りに取り組んでいる NPO 法人 NO BORDERS を訪問し、日本社会の課題を考えます。

全国キリスト教学校人権教育研究協議会の歩み

年月日	行事	開催地	主 題
1990年8月20～21日	第1回「キリスト教主義」学校解放教育交流集会	矢田解放塾(大阪)	「キリスト教主義」学校での解放教育の現状と課題
1991年8月26～27日	第2回キリスト教学校解放教育交流集会	矢田解放塾(大阪)	出会いーキリスト教学校での解放教育の現状と課題
1992年8月24～25日	第3回キリスト教学校における人権教育を考える全国セミナー	日本キリスト教会議館(東京)	共に生き、共に学ぶ教育を求めて
1993年8月23～24日	第4回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	本願寺門徒会館(京都)	キリスト教と人権ー“よき”サマリア人とは何か?
1994年8月22～23日	第5回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	広島女学院中高(広島)	キリスト教と人権ー聖書の「罪」と現代の「差別」
1994年8月23日	全国キリスト教学校人権教育研究協議会の結成		
1995年8月23～24日	第6回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	賢明女子学院中高(姫路)	共生の拒否を乗り越えてー戦後50年・聖書からの問いかけ
1996年8月7～9日	第7回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	金城学院高校(名古屋)	希望を生む人権教育をめざして
1996年10月28日	全国のキリスト教学校(小・中・高校)471校に、「外国籍児童・生徒に関する調査アンケート」と協力依頼文を送付		
1997年3月25日	「外国籍児童・生徒に関する調査アンケート」の集計数字をまとめて「第一次報告書」を作成し、全国のキリスト教学校に送付		
1997年8月7～9日	第8回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	立教新座高校(新座)	キリスト教と人権ーいと小さき者の視点に立つ教育
1998年3月7日	「外国籍児童・生徒に関する調査アンケート」の集計数字をまとめて「第二次報告書」を作成し、全国のキリスト教学校に送付		
1998年8月6～8日	第9回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	四国学院大学(普通寺)	キリスト教と人権ー共生への模索
1999年8月9～11日	第10回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	大阪女学院中高(大阪)	キリスト教と人権ー知り、共感し、変わるー
2000年8月8～10日	第11回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	西南女学院中高(北九州)	共に生きるーきずな創造と回復をもとめてー
2001年8月7～9日	第12回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	日星高等学校(舞鶴)	一人一人が「生きる」学校をめざしてー人権教育が引き出す可能性ー
2002年8月6～8日	第13回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	関東学院中高(横浜)	子どもの声が聞こえていますか
2003年8月6～8日	第14回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	ノートルダム清心女子大学(岡山)	私たちをささえるもの、つなぐもの、生かすもの
2004年8月2～4日	第15回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	西南学院中高(福岡)	『さあ、行こう』平和への道ー今こそ聴き、語り続ける時
2005年8月8～10日	第16回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	立教大学(東京)	こころの自由ーキリストと共に歩む人権教育ー
2006年8月10～12日	第17回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	名古屋学院 名古屋中高(名古屋)	希望をもって生きるために
2007年8月9～11日	第18回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	同志社中学校(京都)	困難な時代です でも私たちはよく生きますようーなぜなら私たち自身が時代をつくり出す者だからですー
2008年8月7～9日	第19回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	カリタス女子中高(川崎)	子どもの声が届いていますか
2009年8月6～8日	第20回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	女子学院会館・在日本韓国YMCA(東京)	未来に希望 現在に勇氣
2010年8月9～11日	第21回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	広島女学院中高(広島)	取りもどそう 創り出そう 人権教育の可能性
2011年8月8～10日	第22回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	横浜共立学園中高(横浜)	子どもを生かし、つなぐものー尊厳と自由の回復をめざしてー
2012年8月8～9日	第23回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	在日韓国基督教教会館・プール学院中高(大阪)	つれもていこか、あんじょういこかー経験をつなく、現場に学ぶー
2013年8月19～21日	第24回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	東北学院大学・日基督教団東北教区センター「エモオ」(仙台)	被災と人権ー3・11を人権教育の視点から考えるー
2014年8月6～8日	第25回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	福岡女学院中学校高等学校(福岡)	「見えなくされている」人々の声に聴く
2015年8月18～19日	第26回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	恵泉女学園大学(東京)	子どものいのちと人権ーキリスト教学校の教育課題ー
2016年8月19～20日	第27回全国キリスト教学校「人権教育セミナー」	松蔭中学校・高等学校(神戸)	いのちと向きあうー今、大切にしたいことー

◇共愛学園中学・高等学校、共愛学園前橋国際大学の行き方◇

1. 自動車利用・・・・・・・・・・北関東自動車駒形I.Cより前橋方面、約5分
2. 電車利用・・・・・・・・・・上越新幹線・北陸新幹線・高崎線（上野東京ライン・新宿湘南ライン）
「高崎駅」で乗り換え、両毛線「駒形駅」より徒歩10分

▶「高崎駅」より

① タクシー：15km 料金目安：5,050円 所要時間：約40分

② JR両毛線「駒形駅」下車

「桐生・伊勢崎方面」各停（6駅）料金：320円 所要時間：22分

▶「前橋駅」より

① タクシー：8.2km 料金目安：2,890円 所要時間：約20分

② JR両毛線「駒形駅」下車

料金：200円（2駅） 所要時間：7分

▶「駒形駅」より

・徒歩：JR両毛線「駒形駅」下車 徒歩10分



※開催場所の注意事項※

1日目：午前・①共愛学園中学・高等学校

午後・②共愛学園前橋国際大学

2日目：②共愛学園前橋国際大学

